



大和郡山市 定例記者会見 (令和8年4月)

日時： 令和8年4月21日(火)
14時00分～
場所： 大和郡山市役所
4階 小会議室

【報道資料】

- ① 開庁時間(窓口・電話の受付時間)の変更について(企画政策課)
- ② 第31回 全国金魚すくい選手権大会
～Goldfish Scooping World Championship～
全国大会・奈良県予選 参加者募集 (地域振興課)
- ③ 市指定文化財の指定について(まちづくり戦略課)
- ④ 郡山城天守台登城サポート事業の開催について(まちづくり戦略課)
- ⑤ 「デジタルナビ郡山城跡」の稼働(まちづくり戦略課)

※記者会見終了後、引き続き、郡山城跡東多門櫓にて
「デジタルナビ郡山城跡」の稼働について記者発表を行います。



令和 8 年 4 月 2 1 日

報 道 資 料

件 名	開庁時間(窓口・電話の受付時間)の変更について
日 時	開始日：令和8年7月1日
概 要	<p>令和8年7月1日（水）から、本庁舎や支所などの窓口・電話の受付時間を変更します。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 目 的<ul style="list-style-type: none">・開庁前の準備や窓口終了後の事務処理等に職員の恒常的な時間外勤務が生じている状況を改善し、職員の働き方改革を進める。・開庁時間を短縮すると同時に、業務の見直しや電子申請の取り組みを推進し、市民サービスの維持・向上を図る。2. 開庁時間について <u>現 行：8時30分～17時15分</u> <u>変更後：9時00分～16時30分</u>3. 実施時期 令和8年7月1日（水）から4. 対象施設 本庁舎、支所、保健センター5. 電話対応について 窓口時間に合わせ、9時00分～16時30分に変更6. その他 広報紙、市HP、ポスター・チラシの掲示・配布
問 合 せ	大和郡山市 総務部 企画政策課 谷口 電話 0743-53-1160 FAX 0743-53-1049



令和8年4月21日

報道資料

件名	第31回 全国金魚すくい選手権大会 ～Goldfish Scooping World Championship～ 全国大会・奈良県予選 参加者募集
概要	<p>●奈良県予選</p> <p>7月5日(日) 8:30 開場 / 中央公民館(三の丸会館) 定員：個人戦 小中学生の部180人・一般の部360人 団体戦 180チーム (3人1チーム) 対象者：奈良県在住で全国大会に出場できる小学生以上の方 申込締切：6月5日(金)</p> <p>●第31回 全国金魚すくい選手権大会 全国大会</p> <p>8月23日(日) 8:30 開場 / 金魚スクエア (総合公園施設多目的体育館) 定員：個人戦 小・中学生の部300人・一般の部600人 団体戦 300チーム (3人1チーム) 対象者：小学生以上 (ただし奈良県在住の人は、奈良県予選を通過した人) 申込締切：7月3日(金)</p> <p>*いずれも申込開始は、4/30(木)12時より市HP・指定の用紙にて 予定しております。</p> <p>今年の大会は・・・</p> <p>大河ドラマ「豊臣兄弟！」放送をきっかけとした大和郡山市の盛り上がり背景に、豊臣秀長にちなむ「秀長さん杯」を開催するなど特別感のある大会を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none">○ 2人1組による「秀長さん杯」を開催し、金魚すくいを通して兄弟のような絆を認識する場とします。 (競技ルールや募集人数は別紙企画書を参照ください。)○ 大河ドラマ館開館や三の丸駐車場の閉鎖に伴い、城下町エリアにおける駐車場が不足することになります。特に奈良県予選におきましては、選手用駐車場が確保できないため、参加者に対し公共交通機関の利用を呼びかけ、大型商業施設からのパーク＆バスライドを実施いたします。
問合せ	大和郡山市役所 地域振興課 観光戦略室 担当者 井岡・北内・谷岡 ☎0743-53-1151 (内線 562・563)

【案】 秀長さん杯

■イベント概要

- 日時 : 2026年8月23日 (日)
午前開催の団体の部 表彰式終了後(昼休憩前)
- 場所 : 金魚スクエア(大和郡山市総合公園施設多目的体育館)
- 目的 : 大河ドラマ「豊臣兄弟!」放映を記念し、兄弟の絆にフォーカスした金魚すくい大会を実施する
- 主催 : 全国金魚すくい競技連盟

■イベント内容

- ◇ 兄弟のような絆を持つ2人が2人1組で金魚すくいの腕を競う
- ◇ 優勝者および上位入賞者に対する表彰式を実施する
- ◇ 「兄弟の助け合いエピソード」を応募の際に募集し、大会の中で読み上げる。

■競技詳細

- 参加資格は、小学生以上で「兄弟のように仲が良く、金魚すくいの好きな2人」により構成されたチームとする。男女は問わない。
- 奈良県予選の参加者も予選通過・敗退に関わらず参加可能とする。
- 使用するポイの号数、ルールは主に第31回大会団体戦のルールに準ずる
- 競技は2人1組で1つのボウルを使用する。
- 上位入賞者(3位以上)には記念の盾を贈呈。
- 参加者に対し通常の個人戦ないし団体戦への重複の出場は禁止しない。
- 1水槽2チーム。合計50チーム(100名)の参加を想定。

■募集案内

- 募集案内は通常のご案内とあわせて、ホームページなどで実施する予定。
- 申し込みはホームページの応募フォームにて行う。
- 応募多数の場合は抽選を実施。過去の上位入賞者や実の兄弟といった特定の条件の応募者に対する優遇措置やシードは設けない。
- 応募時に「助け合いエピソード」を記入するものとする。字数制限は設けないが、目安は400字以内で、1つのエピソードを簡潔に記入するよう求める。

■その他

- 記念の盾は2種類作成し、「秀長さん杯」を想起させるデザインを施す。
- 定員を上回った場合は、抽選により参加者を決定する。
- 第1回~第30回の全国大会の参加選手数は延べ46,067人です
- YouTubeにおいて生配信及びアーカイブ配信を行います。

平和のシンボル、金魚が泳ぐ城下町。

奈良県大和郡山市

第31回 全国金魚すくい選手権大会



Goldfish Scooping World Championship 金魚すくい世界一決定戦

秀長が残した輪は
今もここにある



大会マスコットキャラクター
デメッキー

大会マスコットキャラクター
きんとと

秀長さん杯
開催

参加費
無料

全国大会 2026年8月23日(日) 参加申込 7月3日(金)まで

会場 ▶ 金魚スクエア(大和郡山市総合公園施設多目的体育館) 開場: 午前8時30分

個人戦 ▶ 小・中学生の部: 300名 / 一般の部: 600名 秀長さん杯 ▶ 2人1組: 50組(個人戦または団体戦と重複して申込できます)

団体戦 ▶ 3人1チーム: 300チーム(個人戦と団体戦の重複申込はできません)

団体戦の副賞(商品券)はありません

駐車場に限りがありますので公共交通機関をご利用ください。



金魚スクエアは近鉄郡山駅、JR大和小泉駅より
バスで「市営グラウンド前」下車すぐ
全国大会当日は近鉄郡山駅、JR郡山駅からシャトルバス運行

奈良県予選 2026年7月5日(日) 参加申込 6月5日(金)まで

会場 ▶ 大和郡山市中央公民館(三の丸会館) 開場: 午前8時30分 ※奈良県在住の方は奈良県予選から
出場していただきます。

個人戦 ▶ 小・中学生の部: 180名 / 一般の部: 360名

団体戦 ▶ 3人1チーム: 180チーム(個人戦と団体戦の重複申込はできません)

奈良県予選では、**今回のみ選手用駐車場のご用意が
ございません。**公共交通機関でおこしください。

奈良県
予選
イオンモール大和郡山
アピタ大和郡山店にて
パークアンドバスライド実施
◎詳細はHPをご確認ください

公認審判員を募集しています お問い合わせは下記まで。

お問い合わせ 大会事務局: 奈良県大和郡山市地域振興課 TEL.0743-53-1151 FAX.0743-55-4911

URL <https://www.city.yamatokoriyama.lg.jp/soshiki/chiiikishinkoka/event/5/1670.html>
E-mail kankou@city.yamatokoriyama.lg.jp





令和8年4月21日

報道資料

件名	市指定文化財の指定について
指定日	令和8年3月31日
概要	<p>大和郡山市では、大和郡山市今井町に所在する^{こうけいじ もくぞうあみだ}光慶寺の木造阿弥陀^{によらいりゅうぞう}如来立像1軀を新たに市指定文化財として指定いたしました。</p> <p>指定年月日（告示日） 令和8年3月31日</p> <p>◎種 別 有形文化財（彫刻）</p> <p>◎名称及び員数 木造阿弥陀如来立像 1軀</p> <p>◎所 在 地 今井町29番地（光慶寺）</p> <p>◎時 代 鎌倉時代</p> <p>◎所 有 者 光慶寺</p> <p>◎法 量 像高57.5センチメートル</p> <p>指定の概要は別紙の通りです。なお仏像は原則非公開となります。</p> <p>この指定により、大和郡山市指定文化財は57件（国・県指定を合わせると130件）となります。</p>
問合せ	大和郡山市 都市建設部 まちづくり戦略課 文化財保存活用係 青山 電話 0743-53-1759（直通）

新規指定の大和郡山市指定文化財について

指定書番号	市彫第17号
指定年月日	令和8年3月31日
種別	有形文化財（彫刻）
名称及び員数	木造阿弥陀如来立像 1 軀
所有者	光慶寺
所在地	大和郡山市今井町29
法量	像高 57.5 センチメートル
時代	鎌倉時代

説明（指定理由）

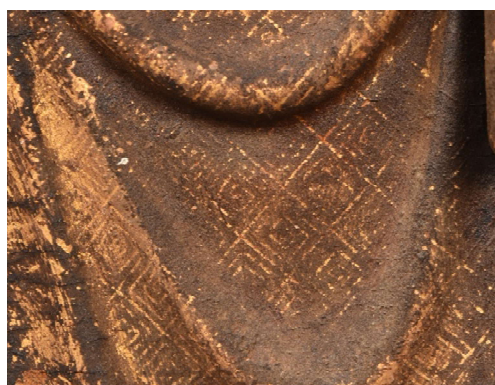
この阿弥陀如来立像は、両手で来迎印を結ぶ、高さ 57.5 センチメートルの小さな仏像です。小像ながら、檜材を前後に割って内側をくり抜き、さらに両側に材を寄せるといふ、本格的な木寄せ法で作られています。衣の表現は複雑で、鎌倉時代中期以降の彫刻によく見られる繊細なひだが丁寧に表されています。表面には漆箔や切金文様が施され、麻葉結びや雷文結びなど多様な文様が精緻にあらわされています。均整のとれた体つきや穏やかな顔立ち、自然な動きのある姿から、13 世紀半ば頃の制作と考えられます。伝来は不明ですが、大和郡山市内に残る鎌倉時代彫刻の優れた作例として注目されます。



光慶寺阿弥陀如来立像 全身



右袖裏切金模様近景




左袖切金模様近景



令和8年4月21日

報道資料

<p>件名</p>	<p>郡山城天守台登城サポート事業の開催について</p>
<p>日時</p>	<p>令和8年5月10日（日）9時30分から14時（最終受付13：00）</p>
<p>場所</p>	<p>大和郡山市城内町255-2 郡山城天守台周辺</p>
<p>概要</p>	<p>ソフト的なバリアフリーの取り組みである「郡山城天守台登城サポート事業」を「郡山・市の日」の開催に併せて開催します。また、バリアフリー啓発活動として車いす体験も実施します。</p> <p>○開催日時：令和8年5月10日（日）9：30～14：00（最終受付13：00） ※10:30～11:00 やまここおりやまジュニアブラスの演奏会を予定 ※雨天中止</p> <p>○対象者：車いすなどのサポートがなければ、登城が困難な方。サポートを必要とされる方は事前受付を原則とします。 ※電動車いすは不可。その他、身体状況等によっては、安全確保のため、登城サポート受け入れをお断りする場合があります。 ※参加者の状況次第で、車いす体験をしたい方を随時受付する予定です。</p> <p>○事前受付期間：令和8年5月8日（金）正午まで</p> <p>○お問合せ：まちづくり戦略課 内線 675</p> <p>前回の登場サポート事業の様子</p> 
<p>問合せ</p>	<p>大和郡山市まちづくり戦略課：浦詰 0743-53-1759（直通）</p>

郡山城天守台登城サポート事業 企画案

令和5年を初回として、過去4回に渡って、ソフト的なバリアフリーの取り組みとして、郡山城天守台において、「郡山城天守台登城サポート事業」を行いました。

今回も、同日に開催予定の「郡山・市の日」と併せて、「郡山城天守台登城サポート事業」を実施します。また、「郡山・市の日」に来場された方のバリアフリー啓発活動も兼ね、心のバリアフリー推進に取り組みます。

開催日時：令和8年5月10日（日）

9：00～14：00 ※小雨中止

10：30～11：00 やまとおりやまジュニアブラスによる演奏会

参加団体：大和郡山市（まちづくり戦略課、障害福祉課他）

（公財）郡山城史跡・柳沢文庫保存会、（特非）サポートセンターはあと、
大和郡山歴史同好会、天理大学ほか

対象者：サポートがなければ登城が困難な方（車いす利用者、足の不自由な高齢者等）
※ただし、電動車いすは不可。

募集方法：サポートを必要とする方は、要事前連絡とする。

サポート方法：3人1組のチームを組成して、サポートを行います。

※雨天時の対応について

安全確保のために、少しでも雨が降ってきた場合は中止とします。

前日16時発表の日本気象協会（<https://tenki.jp/>）の予報で、当日午前9時の降水確率が70%以上の場合は中止とします。前日に中止の判断をした場合は、各団体の代表者に電話連絡します。

○登城サポート事業実施状況（令和7年5月11日開催）





令和8年4月21日

報道資料

件名	「デジタルナビ郡山城跡」の稼働
日時	稼働開始:4月22日(水)10時～(展覧会開催期間中)
場所	展覧会「秀長と郡山のあゆみ」(郡山城跡東多門櫓内)
概要	<p>【概要】</p> <p>65インチのタッチ式大型モニタを用いて、郡山城跡の遺構や城下町にある文化財について情報発信する設備である「デジタルナビ郡山城跡」。こちらを現在開催中の展覧会「秀長と郡山のあゆみ」の会場内に設置します。</p> <p>【内容】</p> <p>曲輪や石垣など郡山城跡の情報14件、城下町一帯の寺社等の情報15件を掲載。郡山城跡一帯が三次元モデルで表示される地図と城下町一帯の空中写真が表示される地図の2種類を切り替えながら、実際にモニタに触れて各情報をご覧いただけます。</p> <p>【見どころ】</p> <p>別添資料にてご紹介。 大型モニタに映し出される郡山城跡、城下町一帯の情報を見て、触れて、ぜひご体験ください。 ※会見当日、お越しいただくのが難しい場合はご相談ください。</p>
問合せ	大和郡山市 都市建設部 まちづくり戦略課 文化財保存活用室 十文字・大西 電話 0743-53-1151(内線733)

「デジタルナビ郡山城跡」の稼働について

1 概要

名称	「デジタルナビ郡山城跡」
稼働期間	令和8年4月22日から展覧会開催期間中
稼働場所	展覧会「秀長と郡山のあゆみ」の展覧室内
概要	郡山城跡の遺構や城下町にある文化財について、タッチ式モニタを用いて情報発信する設備。

2 みどころ

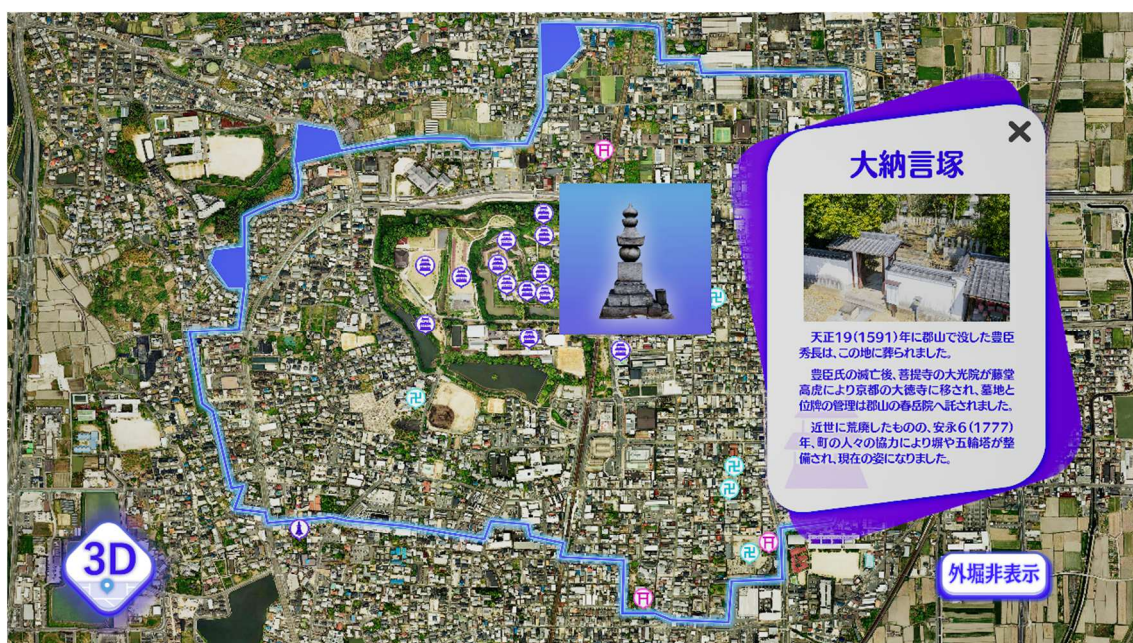
【郡山城跡の情報を、大迫力の大型モニタで発信！】

65インチのタッチ式大型モニタで、郡山城跡の情報にアクセスできます。

郡山城の主要な曲輪や城下町に広がる文化財について、最新の空中写真にマッピングして、その概要を知ることができます。

各項目は最新の調査成果を反映した内容です。

郡山城跡の情報（曲輪や石垣など）14件、城下町一帯の寺社等15件を掲載しています。



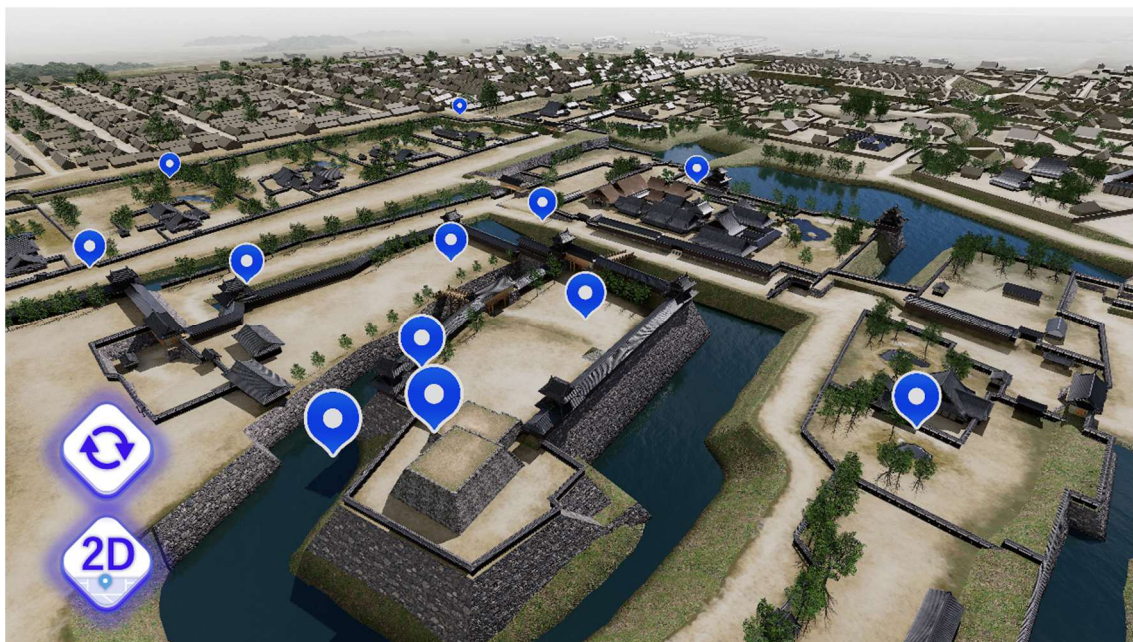
【実際の地形データから、江戸時代の郡山城を再現！】

実際の地形データに基づき郡山城跡一帯の三次元モデルを生成して、立体的な城の姿を復元しました。利用者が三次元モデルを操作することができます。

三次元モデル上に、江戸時代の城絵図に基づき櫓や塀、建物を配置し、江戸時代後半（柳

澤藩政期) の郡山城の姿を再現しています。

発掘調査等の成果にアクセスできる 14 か所のポイントを設置しています。



【豊臣時代の天守を CG で復元！】

三次元モデルの天守台に、CG で豊臣時代の天守を復元しました。

天守の監修は広島大学名誉教授・三浦正幸氏です。発掘調査成果等を反映して、増田長盛時代の天守が復元されました。

城郭建築研究の第一線をリードする研究者による最新の成果は必見です！



天守の礎石



郡山城の天守は江戸時代の絵図に描かれず、「石の天守」と呼ばれていました。しかし、発掘調査で意外な礎石が発見され、全国的にも希少な豊臣期天守の存在が実証されました。壮大な天守を支えるため礎石の下には根石が入念に敷き詰められています。これらには、石垣と同様に石塔などの転用石材が使われていました。

復元天守監修：三浦正幸

天守非表示

歴史に翻弄された郡山城天守

三浦正幸（工学博士・広島大学名誉教授）

今も残る郡山城の立派な天守台には、江戸時代を通じて天守はありませんでした。徳川家康が慶長7年（1602）に京都二条城を築き、二条城天守として郡山城にあった天守を運び去ってしまったからです。そして寛永元年（1624）の二条城本丸増築にともない、伏見城天守を二条城に移築し、その結果、二条城で不用となった旧郡山城天守は淀城（京都市）へ移されました。郡山城から二条城そして淀城へと流転した天守は、慶長元年（1596）から同5年（1600）の関ヶ原の戦いまでの間に、石田三成の同僚で豊臣五奉行の一人だった増田長盛が天守台とともに再建した二代目天守だったと考えられます。天守台の発掘調査や淀城に移築された後の古絵図などからすると、五重五階の壮大な望楼型天守（大きな入母屋造屋根の上に望楼を上げた古式な天守形式）で、唐破風や千鳥破風で飾られ、正面に小天守を従えた複合式天守でした。当時は、天守へは小天守内の木造階段で上がっていたと考えられます。現在は封鎖されていますが、小天守台正面に地階入口があったことが発掘調査で判明しています。

また、現状では、天守台へ登るための石階段が天守台に沿って2か所あります。そのうちの天守台正面側の石階段は、内部階段があった小天守を失って天守台へ上がられなくなったので、後に新設されたものです。一方、天守台側面の石階段は、上り始めの下部で円く曲がって積み方が乱れており、明らかに近代の築造ですが、その位置に往時から石階段が存在した可能性があります。小天守台がその階段の方へ不自然に大きく張り出していること、その張り出し部分に小天守の木造部までが張り出すとしたら小天守が大きくなりすぎることから、そこは空地だったと考えられます。そして、小天守への上がり口は、正面の地下からの通路以外に、その小天守台の空地へ直接に上る石階段があったとした方が合理的です。天守へ上る通路が、地下と地上との2方向であった城は、信長の安土城、秀吉の大坂城があり、井伊家の彦根城が現存例です。彦根城天守の例では、地下から上がる通路は天守一階正面の下段（床が一段低く、下級兵卒の籠城場所）に通じ、地上からの通路は後方の付櫓から上ります。前者が兵卒の通路、後者が城主の通路だったと考えられます。安土城・豊臣大坂城でも、城主は地上通路を使い、兵卒が地下通路を使ったと推定されます。

ところで郡山城を大増築した豊臣秀長の在世時に、天守は完成していたのでしょうか。秀長が天守に使う材木を生駒鬼取山から伐採したため、山神の祟りにより大地震で天守が倒壊したという伝説があります。江戸時代に作られた伝説なので、そのまま信じることはできません。しかし、現存する天守台は、石材に切り取り線のような矢穴を掘って割る技法が見られ、また隅石の加工成形の仕上げの良さなどからすると、秀長の時代より明らかに技術的に進歩しています。そうした特徴は増田長盛の時代に当たります。秀長の天守台は、古代の礎石を使った隅の一部を除いて残っておらず、本当に大地震で崩れてしまったようです。その地震とは、慶長元年（1596）に当地を襲った慶長伏見大地震です。その地震で秀吉の伏見

城も崩れ落ちました。それに先立つ天正 19 年（1591）に秀長は病没しています。その時までに現存天守台の一代前の天守台は完成していたようですが、地震で倒壊した初代天守の本体は秀長の跡を継いだ養子の豊臣秀保が完成させたものかもしれません。残念なことに豊臣時代の初代天守の姿は不明です。

〈三浦正幸先生・略歴〉

1954 年生。建築学者、研究者（工学博士）、一級建築士。

1977 年 東京大学工学部建築学科卒業

1992 年 広島大学工学部助教授

1999 年 広島大学文学部教授

2001 年 広島大学大学院文学研究科教授

2018 年 広島大学名誉教授に就任。

認定 NPO 法人 江戸城天守を再建する会 特別顧問

日本伝統建築技術保存会（ユネスコ無形文化遺産登録団体） 特別会員

文化財石垣保存技術協議会 評議員

公益財団法人 日本城郭協会 評議員

【著書】

『図説 近世城郭の普請 縄張り・城下町編』（2025 年）

『図説 近世城郭の普請 石垣編』（2024 年）

『天守：芸術建築の本質と歴史』（2022 年）

『図説 近世城郭の作事 天守編』、『同 櫓・城門編』（2022 年）

『城のつくり方図典 改訂新版』（2016 年）

『城の鑑賞基礎知識』（1999 年）

他多数